



平成 29 年 11 月 16 日

放課後等デイサービス yes を訪問しました

yes は「特定営利活動法人 ^{あい}合」が運営する施設です。施設統括責任者の関根さんと yes 管理者の長竹さんにお話を伺いました。

合は平成 21 年に障害児・者のホームヘルプ事業から始まり、放課後等デイサービス（4 施設）、児童発達支援デイサービス（2 施設）、生活介護・短期入所（1 施設）、療育事業（1 施設）を持ち、居宅サービスとして福祉有償運送、移動支援、生活サポート、指定障がい者（児）福祉サービス、福祉用具販売・レンタル、日中一時支援事業、相談支援センターなど、多岐にわたる福祉事業を越谷を中心に、吉川、松伏で展開しています。



中に入ると歪んだミラーが！
スタッフには不評だけど利用者には喜ばれている。訪問時にもミラーに向かって、近づいたり離れたったりして遊ぶ子の姿も。

合が運営する放課後等デイサービスは現在 4 施設あるが、その一つは今年度 4 月より医療的ケアを必要とする重症児デイサービスとしてスタートしました。この福祉における幅広い活動は、周りにいる支援を必要としている方たちのために、受け入れられる器を広げるように事業を展開してきています。

法人として医学療法士、作業療法士、言語療法士などの専門家がいるので、各施設も心強いのではないのでしょうか。

yes はそのたくさんの方々の事業の中の一つとして、平成 25 年から吉川市を拠点にして展開しています。まことショッピングセンターの中の一角に入っています。現在は、三郷特別支援学校、草加かがやき特別支援学校、越谷特別支援学校の、中学生以上の割合と重度の子供たちが通所しています。登録人数は 16 人で吉川以外に草加・越谷・八潮の子供たちが利用しています。毎日 4、5 人のスタッフで対応しています。

今の制度では、重度の子でも、軽度の子でも、同じ介護給付金での運営になるため、重度の子が多い施設ではスタッフの負担は重くなります。本来は施設としてはどんな子でも受け入れることとされていますが、「施設の形状」や「スタッフの力量」などを理由に、実質「お断り」するケースもある中で、yes では比較的軽度の子でも受け入れをしてくれています。



子どもたちは平日においては 2 時間程度の滞在となるが、必ずやることは、床の水拭きとビーズ通しである。中高生が多い中で、卒業後の就労などを視野に入れながら、少々難しいことでも日課として毎日行うことで、できるようになっていくとのこと。できる子はビーズ通しの間は正座で作業に向かいます。私たちが見学している時も、正座でテーブルを囲み、紐にビーズを一生懸命通していました。





終わりの時間が近づくと、読み聞かせが始まり、それが終わると円陣で手をつなぎながらサヨナラの歌を歌います。利用者の子が私たちの方を見て、気にかけてくれたので、私たちも仲間に入れてもらいました。みんなの顔を見回しながら、一人ずつ目を合わせながら挨拶をしていきます。2便の送迎車のメンバーを点呼しながら、間違いのないように車に乗って、帰って行きました。はじめは人員が足りなかったこともあって、ドライバーさんは外注だそうですが、元ドライバーの方が多く、安心・安全の送迎です。



読み聞かせの様子
天井の青空がさわやかな雰囲気。

yes

埼玉県吉川市保 493-8-6

048-993-4784

